

MORIWAKI SKIDPAD KIT

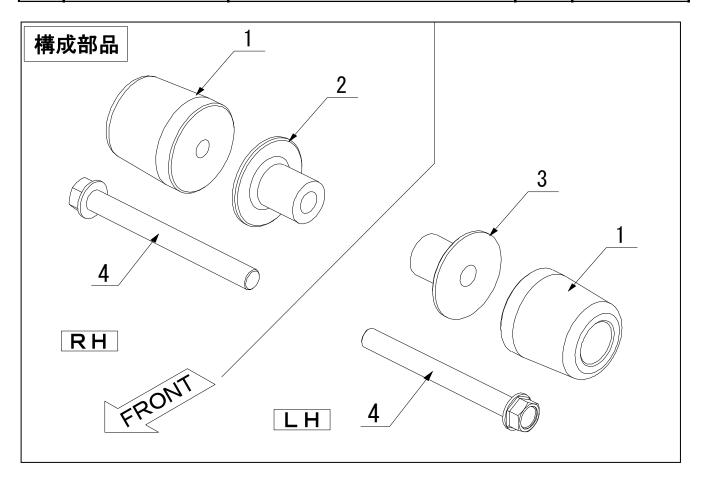
04-11 CBR1000RR

取扱説明書

△作業される前に必ずお読み下さい

【パーツー覧】

No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)
		n° ット、 50 mmx ϕ 12、スキット、、黒	2	¥5,940
		ヘ´ース 23mmx Φ 12、パット´、スキット´	1	¥3,080
		へ ース 32mmx Φ 12、パット、スキット ゙	1	¥3,080
4	95801-12105-08	ホ゛ルト、フランシ゛12 × 105	2	¥539
5		取扱説明書		



【製品名】ホンダ 04-11 CBR1000RR スキッドパッドキット 色…黒 (Parts. No.05030-21199-00)

【仕様】

《**適応車種》** 車種名 04-11 CBR1000RR

《注意》 この機種は、現物合わせによるカウル穴加工が必要です。

また、年式により使用する型紙が異なりますのでご注意ください。

04-07年式('04CBR1000RRと書かれた型紙)

08-11年式('08CBR1000RRと書かれた型紙)

【準備物】

〈工具〉 5 [mm] ヘキサゴンレンチ、17 [mm] ソケットレンチ

トルクレンチ、+ドライバー、ホールソー、ヤスリ等 (穴あけ工具)

〈その他〉 軍手、ウエス

^注意事項

- ① 作業はエンジンが十分冷めてから行って下さい。エンジンやマフラーに触れて火傷をする可能性があります。
- ② 作業する時は、けが防止のため、軍手を着用して下さい。
- ③ エンジンを運転する場合には、必ず換気の良い場所で行って下さい。
- ④ 走行中の振動により、ボルト類が緩むことがありますので、定期的に増し締めをして下さい。 特に転倒時には緩みやすくなりますので必ず点検をして下さい。
- ⑤ 不正な取付けによる破損等の返品や保証は、お受けしておりませんのでご了承下さい。
- ⑥ 転倒歴のある車両では、取り付かないケースがありますのでご注意下さい。

【取付方法】

● 右側スキッドパッド

シリンダー前方のエンジンマウントボルトと共締めします。(図1)

スタンダードのマウントボルトから、キットのボルト

 $M12 \times 105$ に交換して取付けて下さい。

パッド全長は、50mmです。

※ 締め付けトルク

*

ハンカ゛ーホ゛ルト、ナット

 $M12 \cdots 64 \text{ Nm } (6.5 \text{ kg f} - \text{m})$

スキッドパッドの取付けは、必ず、片側ずつ行なって下さい。両側のエンジンハンガーボルトを一度にはずすと、エンジンが移動して、ボルトが入らなくなる恐れが有ります。



● 左側スキッドパッド

シリンダー前方のエンジンマウントボルトと共締めします。(図2)

スタンダードのマウントボルトから、キットのボルト $oldsymbol{M}$

 12×105 に交換して取付けて下さい。

パッド全長は、50mmです。

※ 締め付けトルク

ハンカ゛ーホ゛ルト

 $M12 \cdots 64 Nm (6.5 kg f-m)$

スキッドパッドの取付けは、必ず、片側ずつ行なって下さい。両側のエンジンハンガーボルトを一度にはずすと、エンジンが移動して、ボルトが入らなくなる恐れが有ります。

【カウル加工】

本製品は、カウルの穴加工が必要です。 型紙が同梱されています。(RH用、LH用) この型紙は、あくまでも目安ですので、最終的には、車体に 合わせて穴位置を決定して下さい。

型紙を使って、カウルに穴センターの目印を付けます。 (型紙の穴センターに小さな穴をあけておき、型紙をカウルにテープで固定し、マジックなどでカウルに印を付けます。)

ホールソー等を使って穴をあけます。

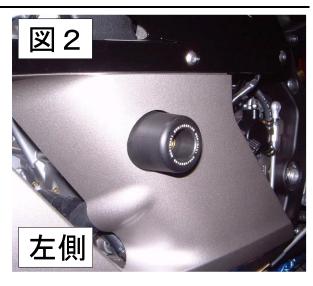
<u>車体誤差や、型紙の位置ずれ、加工精度等によって、穴位置</u>が微妙にずれますので、まず最初に ϕ 45 \sim ϕ 48程の穴をあけます。

次に、<u>現物合わせを行いながら、リューターや、やすり等で</u> 目的の大きさまで広げて行きます。

仕上がり径は、 ϕ 55~ ϕ 58くらいが目安です。 (スキッドパッド径は ϕ 50です。)

作業は、ケガ や、事故の無い様に充分注意して、行なってください。

また、作業に不慣れな方は、専門家にお任せする事をお 勧め致します。







【確認】

走行前の確認

- ① 干渉している箇所はないか。
- ② 各ボルト、ナット類の締め忘れがないか。

走行後の確認

- ① 干渉している箇所はないか。
- ② 各ボルト、ナット類の緩みがないか。

△注意 各部に、干渉や締め忘れが無いか充分にご注意下さい

【メンテナンスについて】

振動によって、ボルト、ナット類が緩むことがありますので、定期的に増し締めをして下さい。 特に転倒時には緩みがないか、点検をして下さい。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

(株) モリワキエンジニアリング

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152 HP http://www.moriwaki.co.jp